



株式会社 日盛興産

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、事業活動を通して持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2022年6月6日
株式会社 日盛興産
代表取締役 日高 規晃

取組事例

●安心安全な地域社会を将来につなぐ

社会インフラや公共施設など重要構造物の基盤材料である生コンおよび砕砂の製造販売を通じ、持続可能かつ強靱(レジリエント)な街づくりに貢献してまいります。

【生コンクリート製造】

JIS規格はもちろんJASS5N(日本建築学会原子力発電所仕様書)に対応した高度な品質管理と安定供給を実施しています。

【砕砂製造】

川砂や海砂など天然の砂の枯渇が大きな問題となっており、砕砂の製造・販売を通して、地域土木建設工事への安定供給に貢献することで、自然環境保護に取り組みます。



●持続可能なライフスタイルの提案

【ウェブ通販】

「さえらるる」(道具と共に成長する)をテーマに、四季を通じて日々の暮らしを提案します。

【ものづくり】

日本人特有の美意識「わびさび」をテーマに丁寧なものづくりに取り組みます。

【雨水活用】

雨水(あまみず)を貯めて活用することは、節水効果に加え、災害時の備えや都市型洪水の緩和にもつながります。

私たちは雨水活用普及に取り組みます。

●個とチームワークを大切にします

多様性を認め互いに尊重しあえる職場を目指します。現実をありのままに把握し、今できることを淡々と取り組むことで、最大の価値を創造します。

- 座禅や瞑想タイムを取り入れ柔軟性を育みます。
- 安全会議をはじめとした、安全対策・意識向上に取り組めます。
- 有給休暇の取得奨励
- 女性、高齢者等の雇用制度の整備



防災対応型雨水タンクRain Harvest(レインハーベスト)」

地震大国といわれる日本は、いつでもどこで大規模な地震が発生してもおかしくありません。同時に水道設備(地下埋設管など)の老朽化は社会的問題になっており、年々断水のリスクが高まっています。

その解決策として雨水の活用が挙げられますが、これまでの雨水タンクでは貯めた雨水が腐敗してしまう恐れがありました。そこで福井工業大学笠井教授との共同研究により、降雨があれば自動で雨水が入れ替わる防災対応型雨水タンクを開発しました。【特許第6667818号】



雨水タンクの普及を通じて持続可能な社会づくりに貢献いたします

被災時の安全な水の確保・生活水の確保が課題となっており、防災対応型雨水タンクRain Harvestが防災の観点で課題解決に役立ちます。水は捨てれば洪水、貯めれば資源という言葉もありますが、各家庭で一時的に雨水を貯留することで、表面流水の減少に貢献し内水氾濫の抑制にも貢献します。

将来的に、途上国での防災対応型雨水タンクRain Harvestの普及を目指しています。キレイに雨水を貯める福井発の技術を利用することで、途上国の安全な水の供給・利用に貢献することを目指します。また、雨水タンクの活用を通じて、貧困の問題や、飢餓の問題、健康の問題解決にも挑戦していきたいと考えています。

<挑戦したい分野>

